

2 0 2 4 年 度

事 業 報 告 書

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団

目 次

事業の概要

I. 公益事業

1. 市民の芸術文化振興の企画と実施事業(くにたち市民芸術小ホール) … 1
2. 郷土に関する文化の伝承と振興事業 (くにたち郷土文化館) …………… 3
3. 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業
(くにたち市民総合体育館) …………… 4
4. 共通公益事業 (総務課) …………… 5

II. 収益事業等

1. 付帯サービス事業 …………… 5
2. その他の事業 …………… 5

III. 管理 (法人管理事業)

1. 役員及び役員会等に関する事業 …………… 5

事業の内訳

1. 自主・共催事業…………… 6
 - (1) 市民の芸術文化振興の企画と実施事業…………… 6
 - (2) 郷土に関する文化の伝承と振興事業…………… 1 2
 - (3) 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業…………… 1 8
 - (4) 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業…………… 2 2
 - (5) 財団広報誌「オアシス」の発行等 …………… 2 2
 - (6) 総合評価 …………… 2 4
2. 指定管理事業 …………… 2 6
 - (1) 市民芸術小ホールの利用状況…………… 2 6
 - (2) 国立市古民家を含む郷土文化館の利用状況…………… 2 8
 - (3) 市民総合体育館の利用状況…………… 3 0
 - (4) 有料公園施設等の利用状況…………… 3 2
3. 管 理 …………… 3 4
 - (1) 役員及び役員会等に関する事業…………… 3 4

事業の概要

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団は、定款に掲げた文化・スポーツ事業等を企画実施し、市民芸術小ホールなど3施設を中心とする管理・運営、諸活動を基本としながら、広く芸術・スポーツによるまちづくりを行っています。

その際、次の3点を重要課題として位置付けました。

- 芸小ホールでは、様々な立場・状況にある市民が芸術文化に親しむ機会と場の提供を行う施設として、親しみやすくも優れた芸術との邂逅の場であることを目指します。また社会関係資本（ソーシャル・キャピタル）およびSDGsの観点から人と人との関係性を芸術文化によってつくり上げていきます。

コンパクトなサイズ感の地域ホールとして、市民参加型の事業を充実させつつも芸術性の追求に取り組み、特徴ある施設づくりを行います。それにより事業の充実や貸館利用の活性化を図り、また外部資金の調達機会にもつなげます。

- 郷土文化館では、谷保天満宮、旧本田家住宅、旧国立駅舎、古民家などに代表される市内に現存する有形・無形の歴史的文化遺産を、市民が国立市に強い誇りと愛情を感じる気持ちを育む重要な要素の1つであると考え、これらの歴史的文化的遺産の適切な保護と活用を行い、将来にわたって市民共有の財産として守っていきます。

また、地域に貢献する郷土文化館を目指すため、専門職員としての学芸員の専門性を活かし、くにたちの歴史、文化、環境等を啓蒙、啓発するための企画展示、資料収集、講座事業等を行います。また、参加型の事業を充実させ、利用者の調査、研究等に対応できるよう生涯学習活動の支援を行います。

- 市民総合体育館では、SDGsの目標3「すべての人に健康と福祉を」の目標の達成のため、また、スポーツ庁の第3期スポーツ基本計画をもとに、誰もがスポーツの楽しさや喜びを味わい、さらに人々と共有することで、健康的な生活が送れるよう、1. 健康づくりのスポーツ事業の充実、2. スポーツ及びレクリエーションの普及事業の充実、3. 親と子どものスポーツ体験事業の充実、4. 小中学生スポーツ体験事業の充実、5. 共催事業の充実、6. 屋外スポーツ施設の適正な維持管理、7. 関係機関との連携の7つの運営概略を示し事業を展開していきます。

I. 公益事業

1. 市民の芸術文化振興の企画と実施事業（定款第4条第1号）

（くにたち市民芸術小ホール）

○館内利用者数 53,077人（目標数68,000人）

A. 芸術文化事業

芸術小ホールでは、芸術環境創造事業7事業、芸術振興事業13事業、その他7

事業の、計27事業を実施しました。諸般の事情により実施中止とした事業もありました。主催共催別では主催15事業、共催12事業を実施しました。

（ア）芸術環境創造事業

教育や福祉の見地を含め、地域の芸術的人材・団体の協力を得て事業を行いました。

①教育、福祉、まちづくり連携による地域貢献事業

多摩地域の文化拠点をつないでいる芸術団体・たちかわ創造舎との協働は10年目となりましたがこれまでの公演実施から親子向けワークショップへと変更し、地域のこどもと親世代へのアプローチを強化することで演劇に親しむ土壌づくりを試みました。ダンス公演『富士見台ものがたり』は公募市民による創作作品で、これまで文化面から語られることが少なかった富士見台地域を表現しました。

②学校教育との連携事業

国立音楽大学連携「くにたちデビューコンサート」は17回目となりますが、タイトル通り学部生によるジャズ演奏会となりました。（一財）地域創造の音楽活性化支援事業は5回目最終年

となり、フルートとピアノによる小学校でのアウトリーチおよびホールでのコンサートを実施しました。

③地域の芸術文化資源を活用した学び・体験事業

市内および近隣在住の講師による市民一芸塾では市内の写真館経営者による「写真の撮り方教室」と演奏家による「リコーダー講座」を実施しました。いずれも身近な題材であり参加者の満足度の高さがうかがえました。

(イ) 芸術振興事業

国立市文化芸術条例を踏まえ、誰もが文化芸術に親しみ、より深くかかわりを持つ機会を提供するとともに、鑑賞と交流の拡充を図る事業を行いました。

①芸術文化の創造事業

芸術の神髄である「創造」を行える施設を目指し、出演アーティストやクリエイターと協働しながら事業を企画・展開しました。芸小ステージクリエイションシリーズでは小さな劇場3部作の最終作『宇宙のヒト』を発表、その第1部作である『太陽のタネ』は3年目となる文化庁「文化芸術による子供育成推進事業―学校巡回公演事業―」に採択され北海道の中学校1校、岩手の小学校2校を訪問したことは、外部からの評価を高めた証となりました。『多和田葉子複数の私』ではこれまで6回の実施を振り返りその実績の検証と今後の在り方を市民や研究者らと探るため、シンポジウムや上映会、トーク等を行いました。なおその報告書が上智大学ヨーロッパ研究所により編さんされました。

②芸術文化の継承事業

クラシック音楽では2007年から実施の東京都歴史文化財団（東京文化会館）共催「フレッシュ名曲コンサート（室内楽）」および今年2年目の同財団主催事業「東京ネットワーク計画」を実施しました。今後のクラシック界をけん引する若手演奏家たちを招聘し極めて質の高い演奏を提供しました。寄席事業では若手による「すたじお寄席」から真打昇進した立川らく兵さんお披露目の「ホール寄席」、また人気の「こども寄席・中高生寄席」で伝統芸能の継承につとめました。

③芸術文化の交流・支援事業

「スタジオコンサート」は幅広い音楽ジャンルから選んだアーティスト出演で臨場感あるステージを提供しました。5年ぶりとなった「ビートルズトリビュートナイト」は今なお多大な影響力を持つビートルズの楽曲をライブで楽しめる機会となりました。2008年から継続している「ランチタイムコンサート&ステージ・クリスマスコンサート」は近隣の高齢者を中心に毎回満席となる人気事業で、気軽に生の演奏に触れる場となっています。

(ウ) その他

①自主事業、連携事業企画調査事業

事業担当者の専門性を高めるため、他館での事業視察や研修に積極的に参加しました。

②実行委員会参画事業

「くにたち音楽祭」「吹奏楽フェスティバル」「わくわく子どもフェスタ」はいずれも継続実施しており、実行委員会に参画する各団体の自主的な活動を推進しています。「ギャラリーネットワーク連携事業」は話題性あるテーマの美術講座を今年も実施しました。

イ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

2024年度の市民芸術小ホールの施設利用件数及び利用料収入総額については、前年度と比べて利用件数で約5.3%減の1,367件、利用料収入額は約14.7%増の19,567,280円となりました。利用件数減の主な要因は、スプリングラー修繕および停電を伴う修繕による閉館と、アトリエの利用件数が減っていることにあります。アトリエはほぼ毎週利用していた団体が12月ころから利用していないこと、ホール、スタジオの利用者が控室としてアトリエを利用していたのが、コロナ禍明けで楽屋の利用人数制限解除がされたためと思われます。

施設の老朽化による様々な不具合は自主・共催および貸館事業の運営にも影響を及ぼしかねない

状況です。大型修繕については引き続き国立市との協議を行いながら計画的に行っていきます。

2. 郷土に関する文化の伝承と振興事業（定款第4条第2号）（くにたち郷土文化館）

○館内利用者数 19,125人（目標数25,000人）

郷土文化館では、自主事業37、共催事業3の合計40事業を実施しました。

事業内容は、常設展示事業3、企画展示事業5、資料収集・調査・研究事業7、講座事業10、市民が参加及び体験する事業として、郷土の伝統文化を学ぶ体験事業12、郷土の自然環境を学び体験する事業3となっています。

ア. 郷土文化館事業

（ア）郷土の歴史、民俗及び自然環境等に関する資料の収集、保管、調査研究、教育支援のための事業

①展示事業

共催企画展として、芸術性が世界的に高く評価されている折り紙やその他の様々な紙を使った工芸作品を通して、日本の伝統文化を再認識するとともに、モノを創造する喜び、面白さ、不思議さなどを実感していただく機会とした「第25回紙の工芸展」を開催しました。国立出身の彫刻家、關敏氏は、石という素材を、柔らかで温かみのある作品に作り上げ、さらに人々の歴史と想いを作品に落とし込んだ記念碑などを数多く手掛けており、国立市内にも多くのパブリックアートが残されています。秋季企画展として、關敏氏の石彫作品を紹介すると共に、絵画や書・デザインといった幅広い關敏氏の仕事を紹介することを目的として企画展示した「石を彫る くにたちの彫刻家 關敏の仕事」を開催しました。冬季企画展として、公立小学校の3年生を対象とした民具案内と連動した企画展「むかしのくらし展」を開催し、以上計3回の展示事業を実施して延べ約6,300人を超える観覧者がありました。

②講座事業

「石棒ファンを増やして石棒を未来につなげる！-石棒が持つ現代的意味を考える-」と題し、石棒の活用や魅力発信・地域博物館の活性化についての内容で講演会を実施しました。

（イ）市民が参加及び体験する事業

①郷土の伝統文化を学ぶ体験事業

季節毎の伝統行事など、市民が主体になり楽しむ事業を展開しました。市内の公立小学校の3年生を対象にした恒例の民具案内は、2024年度も公立小学校8校、私立小学校3校の合計11校を対象に実施し、790人の児童生徒を迎えることができ、冬季企画展「むかしのくらし展」の見学と合わせ、郷土の歴史と民俗を体験的に知る機会としました。

②郷土の自然環境を学び体験する事業

市内NPOの協力をいただき、主に小学生を対象に、体験や観察を主体とした「くにたち自然クラブ」事業等を実施しました。

イ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

2024年度の郷土文化館の入館者数は19,125人で2023年度と比較して1,045人、5.2%の減となりました。また、2024年度の古民家の見学者数は9,534人で2023年度と比較して1,539人、19.2%の増となりました。郷土文化館は、2023年度と比較して全国にコレクターのいるマンホールカードの配布が落ち着きました。古民家の増は、「くにたちウォーキング」（10月）のような集客力のあるイベントが実施されたことが要因と思われます。

郷土文化館・古民家の施設・設備等の利用料収入は、2024年度は1,125,000円で2023年度と比べ12,200円、1.1%の増となっております。なお、市主催事業の減免措置については、15.8%の減となっております。事業収入等の状況は、2024年度は614,670円で、2023年度と比べ118,270円、16.1%の減となっております。

ウ. 市内遺跡整理調査業務受託事業（定款第4条第5号）

市内遺跡整理調査業務受託事業として、国立市から2023年度に実施された市内遺跡緊急調査の整理及び報告書の作成業務及び2024年度中に実施された緊急発掘調査に、次年度の資料整理調査に必要な知見を得るための発掘調査補助を受託し、実施しました。

エ. 本田家旧蔵資料整理業務受託事業（定款第4条第5号）

本田家旧蔵資料整理業務受託事業として、国立市から2024年度より本田家旧蔵資料寄贈に伴う基礎調査で確認された約7万点にも及ぶ資料の整理、データベース化に伴う作業及びデータ化に必要な

な情報の整理作業を受託し、実施しました。

3. 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業（定款第4条第3号）

（くにたち市民総合体育館）

○館内利用者数 171,830人（目標数198,000人）

ア. スポーツ及びレクリエーション事業（定款第4条第3号）

総合体育館では、自主事業が19事業65回、共催事業が5事業6回で合計24事業71回を企画しました。

健康づくりのスポーツ事業では、スポーツを通じた健康増進や誰もがスポーツに親しむことができるよう、現在ある7つの事業の充実を図りました。

スポーツ及びレクリエーションの普及事業では、「みる」スポーツとして、プロスポーツ選手の生のプレーを味の素スタジアムで観戦し、スポーツの楽しさや喜びを味わえるよう事業を行いました。また、「する」スポーツとして、ゴルフ教室2事業を開催しました。

親と子どものスポーツ体験事業では、幼児期の子どもから運動やスポーツの機会を与えることは、発達段階において非常に重要であることから、親子で楽しめる事業として3事業開催しました。

小中学生スポーツ体験事業では、小中学生を対象に、長期休暇中に年3回総合体育館の一部を無料開放し、スポーツを楽しんでもらいました。また、その他小学生を対象に5事業を開催しました。

共催事業では、国立市と共催で小学生初心者水泳教室、国立市スポーツ協会と共催でファミリーフェスティバル、くにたちウォーキング、スポーツ講演会、くにたちエールと共催で、小学生かけっこ教室を大変多くの参加者のもとそれぞれ開催しました。

屋外スポーツ施設の適正な維持管理では、屋外スポーツ施設として、野球場、サッカー場、テニスコートを貸し出し、利用者が安全に快適に利用していただくために、施設の適正な維持管理を行いました。

関係機関との連携では、国立市スポーツ協会をはじめ、東京女子体育大学、一橋大学、くにたちエール等と連携を図りました。また、しょうがいしゃスポーツを推進・維持するために、東京都等が主催するしょうがいしゃスポーツ関連の講習会・セミナー等の会場を提供しました。

イ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

総合体育館利用者数（南市民プラザトレーニング室を含む）は個人が104,805人（9,008人、9.4%の増）、団体が65,166人（2,815人、4.5%の増）でした。

総合体育館の個人及び団体利用の利用料収入は32,496,425円で、2023年度と比べて2,357,235円、7.8%の増収でした。

2月26日、27日、28日は、停電を伴う電気設備工事があり、全館臨時休館としました。

有料公園施設等の利用状況は、3箇所あるテニスコートは、25,275時間、利用率は66.5%、3箇所の野球場は、7,045時間、利用率は52.9%、サッカー場は、1,665時間、利用率は、45.5%でした。利用料収入は、テニス、野球、サッカーの合計で、17,312,825円で、2023年度と比較して85,450円、0.5%の増収でした。

ウ. 学校開放受付業務受託事業（定款第4条第5号）

国立市立小・中学校（11校）の体育館と校庭の施設開放事業を国立市から受託して行いました。また、2024年度10月からは新たに中学校の体育館の施設開放を行いました。

エ. 特定保健指導における運動継続支援業務受託事業（定款第4条第5号）

国民健康保険が実施する特定保健指導における運動継続支援業務を国立市から受託し、40歳から65歳の市民を対象として健康増進に寄与しました。利用者数は延557人となり、2023年度と比べて7人、1.3%の増になりました。

4. 共通公益事業（総務課）

ア. 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業（定款第4条第4号）

市民団体等からの申請に基づき、助成選考委員会にて厳正な審査を行った結果、市民団体が実施している事業で、広く市民に公開している「塞ノ神どんど焼き」などの事業に助成しました。

・助成団体 8団体 ・助成金額 1,220,000円

イ. 財団広報紙「オアシス」の発行等事業（定款第4条第7号）

各館の事業を中心に、年6回隔月に財団広報紙「オアシス」を発行し、市内全世帯に配付するとともに、広く財団の事業内容などをお知らせするため、ホームページに掲載しました。

ウ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

総務課は各館の指定管理事業に関わる予算編成、予算執行管理等を適正に行いました。

II. 収益事業等

1. 付帯サービス事業（定款第4条第2項）

ア. チケット販売事業

市民芸術小ホールを借りて利用する団体等から受託し受託販売手数料を得て、音楽・演劇等のチケットを販売しました。

・2024年度の受託団体数 1団体（1件） 受託販売手数料 1,350円

イ. 飲料水等販売事業

①市民芸術小ホール来館者への付帯サービスとして、飲料水等自動販売機を設置し、販売しました。

・2024年度の販売額 374,850円 ・販売数 8,496本

②郷土文化館来館者への付帯サービスとして、飲料水等自動販売機を設置し、販売しました。

・2024年度の販売額 85,556円 ・販売数 1,893本

ウ. グッズ等販売事業

郷土文化館来館者への付帯サービスとして、特別展等で販売した記念グッズ（手ぬぐい、バッジ等）を中心に関連商品を販売しました。

・2024年度の販売額 331,600円 ・2024年度末棚卸額 963,471円

エ. 体育用品の販売事業

総合体育館の施設利用者への付帯サービスとして、ピンポン球、バドミントンシャトル、水泳帽、ゴーグルのスポーツ用品を販売しました。

・2024年度の販売額 351,300円 ・2024年度末棚卸額 137,646円

2. その他の事業

ア. 公益事業外の施設貸与事業

市民芸術小ホール施設及び市民総合体育館の施設利用について、国立市との協定に基づき、その他の施設貸与事業として学校等の卒業式等及びくにはたちの集い等への貸付を行いました。

III. 管理（法人管理事業）

1. 役員及び役員会等に関する事業（定款第4条第7号）

理事会、監査、評議員会を、定款に基づき開催しました。

・理事会 6回
・評議員会 4回
・中間監査 1回、決算監査 1回

以上が、2024年度公益財団法人くにはたち文化・スポーツ振興財団の事業の概要です。

今後の財団運営に当たっては、市民参加の事業展開を図り、効率的な経営を目指して、一層の努力をしてまいります。

事業の内訳

1. 自主・共催事業

(1) 市民の芸術文化振興の企画と実施事業（定款第4条第1号）

〔市民芸術小ホール〕（決算額 32,507,463円）

ア. 芸術環境創造事業

① 教育、福祉、まちづくり連携による地域貢献事業

実施事業 通し番号	報		
	事業名	開催形態	実施日・期間
○ 1	演劇ワークショップ『おやこちゃれんじ』	自主	9月14日
● 2	市民参加ダンスプロジェクト 『くにたち富士見台ものがたり』（2回公演）	自主	2月21日・22日
3	誰もが楽しめるジャズコンサート ①『小池純子ピアノトリオ+高原かな』 ②『高田なみクリスマスコンサート』	自主	①11月7日 ②12月11日
4	くにたちアートプロジェクト事業	共催	通年

② 学校教育との連携事業

5	【国立音大連携事業】 くにたちデビューコンサートVol. 16 『ファーストタイム～敬愛なる、ガーシュウィン～』	自主	3月19日
○ 6	【市内学校等との連携事業】 公共ホール音楽活性化支援事業 『森岡有裕子×永田美穂 フルートとピアノで奏でる舞踏曲と ファンタジーの世界』（コンサート1回、アウトリーチ9回）	共催	アウトリーチ 7月8日～10日 公演 7月13日

③ 地域の芸術文化資源を活用した学び・体験事業

7	市民一芸塾 ①「初心者のための写真の撮り方教室」 ②「リコーダー初級講座」	自主	①11/11・18・25、 12/2・9 ②1/22・29、 2/12・19、3/5
8	※中止 野外彫刻展受賞者個展	自主	—

イ. 芸術振興事業

① 芸術文化の創造事業

9	INC. PERCUSSION DAYS 2024 KUNITACHI	共催	11月23日・24日
10	※中止 鼓童 交流公演2024	共催	—
11	多和田葉子複数の私Vol. 07 「複数の私～多和田葉子とくにたち～」	自主	10月31日 ～11月3日
○ 12	芸小ステージクリエイションⅥ 小さな劇場『宇宙のヒト』（全4回公演）	自主	10月12日・13日
○ 13	文化庁巡回公演事業「音楽会 太陽のタネ」 （①北海道北見市 ②岩手県八幡平市、二戸市）	共催	①9月3日～5日 ②11月26日・28日

○こどもおすすめ事業

●新規事業

告	入場料等 (円)	入場者数 人 (定員)
事業内容及び説明		
たちかわ創造舎を拠点とする劇団のファミリー向けレパトリー公演を予定していましたが、2023年度の成果を鑑み、初めての試みとして親子向けの演劇ワークショップ➡発表へと変更しました。演劇を親子で体験することで、親しんでもらうことを目的としました。	(参加) おとな500 こども1,000 (観覧) 中学生以上1,000	13
公募参加の市民による現代ダンス作品の創作と発表を行いました。2020オリンピック・パラリンピック文化プログラム『放課後ダイバーシティダンス』の制作手法を活かし人々の声を作品に反映させ富士見台を描きました。(一財)自治総合センター助成事業。	一般1,000 学生500	86
教育委員会協力事業。しょうがいがある人や小さいこどもも参加できる、地域で音楽を気軽に楽しめる機会を提供しました。	1,000	①68 ②68
アーツカウンシル東京等との共催で「アートポイント計画」事業。「国立市文化芸術推進計画」の基本理念に沿って市内外の様々な主体が連携協働し、地域での芸術文化イベントを通じた人々の活動や交流促進する拠点づくりを進めました。	0	4,924

国立音楽大学の協力で、これからの音楽界を担う若手音楽家に発表の機会を与える育成支援事業。デビューのタイトルにふさわしく、声楽科の学生が初めてジャズに挑戦し、ジャズ科の学生とのライブに挑みました。	一般1,000	52
音楽家による地域でのアウトリーチを4回以上、ホールでの演奏会を1回行い、ホールの活性化と音楽分野における創造的な芸術環境づくりを実施する(一財)地域創造共催事業。今年度はヴァイオリンとピアノのコンサートを実施しました。またアウトリーチを国立三小、四小の4年生および矢川プラスで行いました。	一般2,000 中学生以下 500	420

①デジカメやスマートフォンを使った撮影のポイント・コツを解説しました。 ②小学校で習ったリコーダーの魅力を改めて知り演奏を楽しむ講座。	2,000	①13 ②15
くにたちアートビエンナーレ野外彫刻展で受賞した作家の作品を展示する個展を開催予定でしたが、作家の都合により行いませんでした。	—	—

【一部入場無料】世界的打楽器奏者の加藤訓子氏主宰による若手演奏家育成プロジェクト。無料ランチタイムコンサート、小学生以上を対象のワークショップ、パーカッション、フルート奏者それぞれによるリサイタル、ミニマルミュージックの先駆者ライヒの楽曲を取り上げたコンサートを実施しました。	(公演) 1,000	205
鼓童の上京タイミングと芸小の施設空き状況が合わず、実施できませんでした。	—	—
【一部入場無料】多和田研究者や過去の同シリーズ公演に参加した市民らと、シンポジウムやトーク、上映会を通じてこれまでを振り返り事業の成果を検証しました。またラジオ劇『オルフォイスあるいはイザナギ』を新演出で上演しました。	0～3,000	397
小さな劇場三部作目、芸小創作作品。赤ちゃんから大人までが参加し、目近に舞台作品を楽しめる劇場でならではの体験を通じ芸術の魅力、劇場に集い合う楽しさを伝えました。	おとな2,000 大学生まで1,000 2歳～小学生500	85
2020年芸小制作の「音楽劇『太陽のタネ』」が文化庁巡回公演事業(へき地・離島対象)に採択され、今年度は全3校での公演およびワークショップ実施を行います。そのうち第1回目として北海道北見市の中学校を訪問しました。事業費については共催の文化庁が全額負担。	0	79

② 芸術文化の継承・普及事業

実施事業 通し番号	報		
	事業名	開催形態	実施日・期間
14	フレッシュ名曲コンサート（室内楽） 「福田麻子 尾城杏奈 ジョイントリサイタル」	共催	10月26日
15	東京ネットワーク計画 「木管六重奏コンサート ～音楽を愛する皆様に贈る、心にしみるアンサンブル～」	共催	1月26日
16	くにたち芸小ホール寄席 「立川らく兵真打昇進記念落語会」 ※協賛事業	自主	12月7日
○ 17	【夏休み子ども向け企画】 こども寄席その13 (①小学生 ②中高生)	自主	①7月22日 ②7月23日
18	くにたち市民オーケストラ ニューイヤーコンサート2025	自主	1月19日
● 19	家族をうたう — Families in song —	自主	10月5日

③ 芸術文化の交流・支援事業

20	スタジオコンサート vol.110『北村聡 鈴木大介 デュオコンサート』 vol.111『灼熱のFLAMENCO LIVE』 vol.112『高橋和哉 電子オルガンソロリサイタル』	自主	① 7月 5日 ② 7月 6日 ③ 2月22日
21	くにたちすたじお寄席 55回、56回、57回	自主	55回 6/16 56回 9/8 57回 3/2
● 22	ビートルズトリビュートナイトVol.5	自主	11月4日

④ 創客、利用拡大事業

23	ランチタイムコンサート・ランチタイムステージ（9回）、 クリスマスコンサート	自主	5/15、6/19、7/17、 8/21、9/18、10/16、 12/18、1/15、2/19
24	ホールとグランドピアノのシェアプログラム	自主	6/11・12、 10/29・30

ウ. その他

①自主事業、連携事業企画調査

25	スタッフ・ディベロップメント事業	自主	通年
26	その他事業 (オアシス、助成等)	自主	通年

○こどもおすすめ事業

●新規事業

告	入場料等 (円)	入場者数 人 (定員)
事業内容及び説明		
(公財) 東京都歴史文化財団の東京文化会館との共催。東京音楽コンクール入賞者等実力と名声を兼ね備えた若手演奏家によるリサイタル。地域住民が質の高い音楽に親しめる機会を提供しました。	一般2,000 学生1,000	156
(公財) 東京都歴史文化財団の東京文化会館主催事業への協力事業。これからのクラシック音楽界をリードする演奏家たちのコンサート。安価なチケット料金(収入は東京文化会館へ)設定で、気軽に本物の演奏を楽しめる機会としました。	一般500	209
すたじお寄席初期レギュラー最後の真打昇進を祝い、師匠の立川志らくをはじめ柳家花緑、林家彦いち両師匠も加わっての豪華な会となりました。	一般3,500 学生1,000	244
真打落語家指導で、江戸情緒や昔の暮らしなどに受け継がれる芸を通して親しみ、話芸の世界を体験する落語講座を、小学生コースと中高生コースに分け開催しました。	参加1,000 見学500	①26 ②19
毎年恒例で人気が高い、市民オケによる演奏会。新春にふさわしい楽曲で市民が気軽にオーケストラ演奏を楽しみました。	1,500	251
家族についてかかれた谷川俊太郎らの詩と歌曲を演奏、朗読。出演はカウンターテナーの中嶋俊晴氏とピアニスト・作編曲家の谷川賢作氏。舞台上の二人を観客席が丸く囲みサロン形式で開催しました。	一般2,500 学生1,000	76

70席のスタジオで様々なジャンルの音楽を身近に親しみやすく体験するコンサートを開催し鑑賞者開拓に努めました。初の試みとしてvol. 110と vol. 111は2日間連続のスペシャルデイズとして企画。vol. 112は昨年度デビューコンサート出演者による、珍しい電子オルガンリサイタル。	2,000	①67 ②69 ③65
真打ち昇進を目指す若手落語家の話芸を聴き、若手の成長を応援する定例落語会を開催しました。毎回ゲストに旧レギュラーメンバーが登場し、芸小ならではの落語会としました。	1,500	55回 65 56回 65 57回 65
5年ぶりに開催した、ビートルズのトリビュートバンド3グループによるライブ。芸小主催事業ではあまり開催されないロック、そしてビートルズを楽しんでもらう機会となりました。	2,000	194

【入場無料】公益事業として開催しました。5月：ヴァイオリンクラシック/6月：ホーモニカ等ポップス/7月バンド・ヴォーカル昭和歌謡/8月：ピアノデュオ/9月：マリンバデュオ/10月：フラメンコとギター/12月：フルート、サクソフォン、マジック/1月：お琴とギター/2月：ソプラノ、ピアノ	0	621
ホール利用の予約が少ない平日に、ホールとコンサートグランドピアノの利用を1時間単位で分かち合う利用体験事業を、利用促進事業として実施しました。	0	31

職員が、接遇、企画力、コーディネート力の育成を図る目的で、講座・研修事業へ参加しました。	0	—
助成金交付事業、財団広報誌オアシス等の宣伝業務、芸術文化情報の発信事業を行いました。	0	—

②実行委員会参画事業

実施事業 通し番号	報		
	事業名	開催形態	実施日・期間
27	第47回 くにたち音楽祭	共催	6月9日
28	第30回 国立市吹奏楽フェスティバル	共催	9月29日
○ 29	ファミリーフェスティバル（ファンファーレ、春風コンサート、呈茶）	共催	5月5日
30	ギャラリーネットワーク連携事業 美術講座『蔦重と3人の浮世絵師～歌麿・写楽・北斎』	共催	①9/4 ②9/11 ③9/18
○ 31	わくわくこどもフェスタ	共催	2月16日

○こどもおすすめ事業

●新規事業

告	入場料等 (円)	入場者数 人 (定員)
事業内容及び説明		
【入場無料】参加団体で実行委員会を組織して運営し、市内で活動する様々な音楽団体による、合同発表公演を開催しました。市内20団体が参加しました。 共催：くにたち音楽祭実行委員会	0	823
【入場無料】参加団体で実行委員会を組織して運営し、主に中高の吹奏楽団体による合同発表公演を開催しました。 共催：国立市吹奏楽フェスティバル実行委員会	0	1,257
【入場無料】国立市スポーツ協会の共催によるファミリー向け事業を行う中で、芸術小ホールでは、吹奏楽公演、呈茶などを行います。	0	1,040
【入場無料】市内で営業している画廊の連絡協議団体が、市民向け公益事業を美術講座3回連続シリーズとして開催しました。 共催：ギャラリーネットワーク	0	①67 ②64 ③62
音楽演奏や民族歌舞団「荒馬座」公演、工作ワークショップ、絵本を読める広場など子どもたちとおとなと一緒に楽しめる様々なイベントを実施しました。 共催：わくわく子どもフェスタ実行委員会	0	1,165

(2) 郷土に関する文化の伝承と振興事業（定款第4条第2号）

〔郷土文化館〕（決算額 28,663,767円）

ア. 郷土の歴史、民俗及び自然環境等に関する資料の収集、保管、展示、普及のための事業

①展示事業

・常設展示

実施事業 通し番号	報		
	事業名	自主・共催	実施日・期間
○ 1	くにたち郷土文化館常設展示	自 主	通 年
○ 2	ハケと生きもの展示	自 主	通 年
3	施設及び周辺環境整備事業	自 主	通 年

・企画展示

実施事業 通し番号	報		
	事業名	自主・共催	実施日・期間
● 4	共催企画展 「第25回 紙の工芸展」	共 催	5月25日～6月16日
5	MiniMini展示 「夏だ！プールだ!! 清化園」	自 主	8月9日～9月1日
● 6	秋季企画展 「石を彫る くにたちの彫刻家 關敏の仕事」 同時開催美術展 「わたしたちのたからもの」	自 主	10月4日～11月13日
7	東京文化財ウィーク 特別公開 国指定重要文化財「石棒 緑川東遺跡出土 附土器」	自 主	11月1日～11月4日
○ 8	冬季企画展 「むかしのくらし展」	自 主	1月10日～3月12日

②資料収集・調査・研究事業

実施事業 通し番号	報		
	事業名	自主・共催	実施日・期間
9	資料活用及び保存に伴う調査・研究・修復事業	自 主	通 年
10	地域資料の整理	自 主	通 年
11	収蔵資料の整理	自 主	通 年
12	資料のデジタル化事業	自 主	通 年
13	図書等の資料整理	自 主	通 年
14	地域資料等の購入・収集及び調査・研究事業	自 主	通 年
15	調査・研究等の書籍刊行事業	自 主	通 年

○こどもおすすめ事業

●新規事業

告	入場料等 (円)	入場者数 (人)
事業内容及び説明		
「多摩川が育んだ段丘（ハケ）とともに生きる私たち」をテーマとした常設展示を行いました。	—	延 19,125
ハケ下の水路や府中用水の生きものを廊下水槽にて展示しました。	—	延 19,125
来館者が地球温暖化や省エネについて考えるとともに、くつろげる空間づくりを施設整備（ハード）、職員の接遇（ソフト）の両面を行いました。	—	—

告	入場料等 (円)	入場者数 (人)
事業内容及び説明		
主に市内で活動する人々により実行委員会を結成し共催で、「紙」を素材にした様々な創作作品を展示しました。また、紙の特性や魅力を学びながら、子どもから大人まで楽しめる「ワークショップ」を全10回にわたり実施しました。	—	延 1,052
「清化園プール」に焦点をあて、地下1階の特別展示室前の廊下を用い、同壁面を利用して広報移管写真を中心に、夏のイメージに沿う民具資料や関連する書籍類を展示しました。	—	延 1,162
市民に国立市内にある芸術に出会い、楽しむ機会を提供するため、国立出身の彫刻家、關敏氏（1930-2023）の石彫作品および絵画や書・デザインといった幅広い同氏の仕事を紹介しました。同時開催の『わたしたちのたからもの』では、市所蔵美術作品を中心に国立で活躍した芸術家を紹介しました。	—	延 2,129
緑川東遺跡出土石棒附土器3点の常設展示室公開に先立ち、東京文化財ウィークを活用し先行公開を行い、石棒とあわせて国立市の縄文時代について興味関心を持ってもらう展示を行いました。	—	延 244
昔の暮らしの中で使われてきた館所蔵の民具を展示し、昔の暮らしや道具についての知識を深める機会としました。郷土文化館開館30周年を記念して同時開催したコーナー展示では、開館の頃の郷土文化館の様子や国立の様子、当時の時代を写す資料を展示しました。	—	延 3,192

告	入場料等 (円)	入場者数 (人)
事業内容及び説明		
将来の企画展示に向けての準備として、国立市に係る資料の収集及び調査・研究及び資料の修復を行いました。	—	—
新たに寄贈された資料（美術品、写真、民俗資料等）の整理を行いました。	—	—
収蔵庫の民具資料を再調査し、収蔵庫の整理を行い目録化を図りました。	—	—
館収蔵の紙資料や市役所広報担当移管写真等のデジタル化、情報入力促進を図り、一部をホームページ等で紹介しました。	—	—
中央図書館との検索システムをネットワーク化するためのデータベース作業等を行いました。	—	—
地域資料の購入を含めた収集活動及び地域史に関する調査・研究を行いました。	—	—
地域資料の調査成果を公開するため、研究紀要第13号を刊行しました。	—	—

③講座事業（教育・普及事業）

実施事業 通し番号	報		
	事 業 名	自主・共催	実施日・期間
● 16	紙の工芸展関連イベント「こどもワークショップ」	自 主	5月12日
● 17	紙の工芸展関連イベント「ワークショップ」	自 主	5月25日～6月9日
● 18	連続自然講座「大人の自然観察入門」	自 主	9月1日・9月8日
19	広報移管写真の資料紹介	自 主	通年
20	秋季企画展関連イベント「旧国立駅舎パネル展示 石彫家・關敏の手がけた作品たち」	自 主	10月18日～10月24日
21	秋季企画展関連イベント「アート散策 くになちで出会う關敏作品」	自 主	10月20日
22	講演会「石棒ファンを増やして石棒を未来につなげる！ —石棒が持つ現代的意味を考える—」	自 主	11月2日
23	ガイドツアー	自 主	通 年
24	学習支援事業	自 主	7月22日～8月29日 10月1日～10月3日 10月16日～10月18日
25	むかしのくらし展関連イベント「蓄音機でレコードを聞いてみよう」	自 主	3月2日

イ．市民が参加及び体験する事業

①郷土の伝統文化を学ぶ体験事業

実施事業 通し番号	報		
	事 業 名	自主・共催	実施日・期間
26	国立市古民家の公開と展示事業	自 主	通 年
27	小学生民具案内（全11校）	自 主	1月16日～2月28日
○ 28	伝統行事 こいのぼり・五月人形飾り	自 主	4月20日～5月6日
○ 29	伝統行事 七夕飾り	自 主	6月22日～7月7日
30	わら細工教室 わらぞうり作り	自 主	7月20日
31	古民家事業 十五夜だんご作り	自 主	9月15日

○こどもおすすめ事業

●新規事業

告	入場料等 (円)	入場者数 (人)
事業内容及び説明		
5歳～12歳を対象に、折り紙・ちぎり絵・ペーパークラフト2種の制作体験を行い、成果物を第25回紙の工芸展にて公開しました。 指導：紙の工芸展実行委員会	100	26
第25回紙の工芸展開催中、紙から「作品」を創る喜びを感じてもらえるよう、出展作品各ジャンルの講師指導によるワークショップを全9回実施しました。 指導：紙の工芸展実行委員会	300	延 88
講義とフィールドワークの2回にわたり、郷土文化館周辺の自然に生息する生き物の特徴や地域環境の変化に対する理解を深める講座を開催しました。 指導：国立市動物調査会	300	延 24
国立市広報から当館に移管された写真資料の周知と市民等の利用促進を図るため、当館HPで月毎に写真紹介を行いました。	—	—
關敏氏が作成した石彫作品やモニュメントについて、背景にある作者の思いや、モニュメントが示す歴史や文化について、旧国立駅舎内にてパネルで紹介しました。	—	—
国立市内に設置されている、石彫家・關敏氏が手がけた大型作品パブリックアートを実際に巡りながら鑑賞し、より専門的知見から解説を交え、石彫について深く学びアートに親しむ機会としました。 講師：長谷川さち（彫刻家・武蔵野美術大学准教授）	—	18
石棒の魅力を発信し、いかに人々へと届けていくかを目的として、東京文化財ウィーク期間中に講演会を開催しました。 講師：三好清超（飛騨市教育委員会・石棒クラブ）	—	29
来館者に向けて展示解説や散策ガイドなどを行いました。	—	—
学芸員実習や中学生職場体験など、学校教育の支援を行いました。	—	6 2 2
郷土文化館に収蔵されている蓄音機を使って、SPレコードを鑑賞しました。	—	延 30

告	入場料等 (円)	入場者数 (人)
事業内容及び説明		
国立市有形民俗文化財の復元民家旧柳澤家を一般に公開するとともに、農具等の資料を展示しました。	—	延 9,534
市内公私立小学校全11校3年生を対象に当館収蔵の民具資料を使い、昔の暮らしを体験してもらいました。 指導：くにたちの暮らしを記録する会	—	790
伝統行事の一環として、端午の節句を中心に、収蔵資料の五月人形を展示し、古民家隣地に鯉のぼりを掲揚しました。	—	延 1,411
郷土文化館、古民家、城山さとのいえで短冊に願いを書き、笹竹につるす行為を通して、年中行事に対する親近感を醸成し、その理解を深めました。	—	延 1,183
くにたちの暮らしを記録する会々員より提供された稲わらを使用し、わらぞうりを作ることで、谷保地域の伝統文化を体験しました。 指導：くにたちの暮らしを記録する会	600	延 20
秋の草花、収穫物、だんごと一緒に飾り、農作物の収穫に感謝する伝統行事について、十五夜だんごの作成体験を古民家で行いました。 指導：くにたちの暮らしを記録する会	300	16

実施事業 通し番号	報		
	事 業 名	自主・共催	実施日・期間
32	伝統文化体験事業 千支の折り紙教室「巳」	自 主	12月1日
33	わら細工教室 しめ縄飾り作り	自 主	12月7日
34	古民家事業 まゆ玉飾り作り	自 主	1月12日
○ 35	古民家事業 節分・豆まき	自 主	2月2日
○ 36	伝統行事 ひな人形飾り	自 主	2月14日～3月10日
37	古民家事業 ひしもち作り	自 主	2月23日

②郷土の自然環境を学び体験する事業

実施事業 通し番号	報		
	事 業 名	自主・共催	実施日・期間
○ 38	くにたち自然クラブ（全7回）	共 催	6月16日～12月8日
○ 39	天体観測 冬の星空ウォッチング（全3回）	自 主	11月5日・12月8日・ 1月5日
○ 40	自然観察会 冬の生き物探し	共 催	2月11日

○こどもおすすめ事業

●新規事業

告	入場料等 (円)	入場者数 (人)
事業内容及び説明		
和紙で2025年の干支「巳」を制作することにより、日本の伝統文化「折り紙」の体験を行いました。 講師：川島操（折り紙インストラクター・第25回紙の工芸展実行委員長）	1,000	14
くにたちの暮らしを記録する会々員より提供された稲わらを使用し、正月用のしめ縄飾りを作ること、谷保地域の伝統文化を体験しました。 指導：くにたちの暮らしを記録する会	800	延 20
養蚕の豊作を祈願し行われていた、「まゆ玉飾り」を作る体験を古民家で行いました。 指導：くにたちの暮らしを記録する会	300	15
豆をまき邪気を払い、福を招くことで、新しい一年に災いが無いようにと、昔ながらの節分行事を体験しました。	—	50
豪華な段飾りの雛人形を展示し、郷土文化館や古民家を訪れる人達に日本の風習や工芸の美しさを味わってもらいました。	—	延 2,750
ひなまつり（桃の節句）のひな人形のお飾り「ひしもち」を、古民家でもち米からひし形に切り、飾り付ける一連の過程を体験してもらいました。 指導：くにたちの暮らしを記録する会	600	延 20

告	入場料等 (円)	入場者数 (人)
事業内容及び説明		
国立市内小学生2～6年生を対象に、生きものや自然の観察など様々な体験を通して、自然の大切さを学びました。 共催：NPO法人国立市動物調査会	通年参加費 2,000	延 163
郷土文化館武蔵野庭園にて、大型天体望遠鏡を使用し、国立から見える宇宙を観察し、専門家より講話と解説を頂きました。 講師：伊東昌市（元国立天文台）	—	延 187
自然クラブ卒業生を対象としたジュニアリーダー育成講座で、冬季の昆虫など自然の観察方法を学びました。 共催：NPO法人国立市動物調査会	100	27

(3) 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業(定款第4条第3号)

〔市民総合体育館〕 (決算額 23,544,030 円)

①健康づくりのスポーツ事業

実施事業 通し番号	報		
	事業名	自主・共催	実施日・期間
1	やさしいヨガ ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間)	自主	5月 8日～ 6月26日 9月 4日～11月 1日 11月 6日～12月25日 1月22日～ 3月19日
2	初めての気功と健康太極拳 ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間) ⑤ (8日間)	自主	4月 2日～ 5月21日 5月28日～ 7月16日 9月10日～10月29日 11月 5日～12月24日 1月14日～ 3月11日
3	太極拳24式・48式 ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間) ⑤ (8日間)	自主	4月 2日～ 5月21日 5月28日～ 7月16日 9月10日～10月29日 11月 5日～12月24日 1月14日～ 3月11日
4	水中リズムウォーキング ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間)	自主	4月24日～ 6月12日 9月 4日～10月30日 11月 6日～12月25日 1月15日～ 3月12日
5	骨盤調整&エアロビクス ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間)	自主	4月 6日～ 6月 1日 6月08日～ 7月27日 10月19日～12月14日 1月18日～ 3月 8日
6	楽しいフラダンス ① (6日間) ② (6日間) ③ (6日間)	自主	4月18日～ 6月20日 9月 5日～11月 7日 12月 5日～ 2月20日
7	インターバル速歩 12回	自主	4月～3月の毎月 第一金曜日

②スポーツ及びレクリエーションの普及事業

8	初心者ゴルフ教室 (12日間)	自主	4月 5日～ 7月 2日
9	レベルアップゴルフ① (12日間) レベルアップゴルフ② (6日間)	自主	9月10日～11月29日 2月 4日～ 3月18日
10	国立プロスポーツ観戦DAY	自主	8月11日

③親と子供のスポーツ体験事業

実施事業 通し番号	報		
	事業名	自主・共催	実施日・期間
○ 11	親子体操教室 ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間)	自主	5月10日～ 6月28日 9月 6日～10月25日 1月10日～ 3月 7日
○ 12	親子野球教室 ① (1日) ② (1日)	自主	10月19日 3月 1日
○ 13	親子スイミング教室 ① (6日間) ② (6日間) ③ (6日間)	自主	5月13日～ 6月17日 11月11日～12月16日 2月 3日～ 3月17日

○こどもおすすめ事業

告	参加費等 (円)	参加者数 (人)
事業内容及び説明		
ヨガの基本的な動作をわかりやすく取り入れ、身体をリラックスさせて心身のリフレッシュと健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	635
	5,000	664
	5,000	626
	5,000	647
初心者向けの13勢基本法の太極拳にゆっくりとした呼吸法を取り入れ、足腰を鍛錬し、健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	426
	5,000	424
	5,000	451
	5,000	461
中国武術の一派をもとに制定された健康法として、中国政府が編纂・制定した太極拳を学び、健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	489
	5,000	451
	5,000	456
	5,000	427
水中を歩いたりストレッチ、ダンス等を行うことにより、浮力を利用し身体全体を動かすなど、健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	435
	5,000	411
	5,000	400
	5,000	386
音楽のリズムに合わせた有酸素運動に加えて、骨盤を調整するストレッチを取り入れ、健康な身体作りを目指した事業を実施しました。	5,000	370
	5,000	387
	5,000	277
	5,000	254
音楽に合わせバランスを取りながら、優雅に全身を動かすことにより健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	296
	5,000	297
	5,000	160
	5,000	152
「さっさか歩き」と「ゆっくり歩き」を交互に繰り返すウォーキング法の講習会です。毎月第一金曜日に開催しました。	5,000	142
	無料	198

ゴルフの基本的な技術指導を行い、ゴルフの楽しさや技術とルールを学ぶため事業を実施しました。	18,000	471
ゴルフの応用的な技術指導とルールを学ぶとともに参加者がレベルアップする事業を実施しました。	18,000 9,000	449 235
プロスポーツ選手のプレーをスタジアムで観戦し、スポーツの普及・振興を図りました。	無 料	217組 434

告	参加費等 (円)	参加者数 (人)
事業内容及び説明		
親子で一緒に運動することにより動く楽しさを知るとともに、親子のコミュニケーションづくりとして事業を実施しました。	5,000	63組 126
	5,000	79組 158
	5,000	84組 168
幼稚園の年中から小学2年生までを対象に、プロの指導員により野球を基礎から学ぶ場を提供することにより、運動の楽しさを知ってもらうために事業を実施しました。	無 料	51組 102
		54組 108
親子で水に慣れるとともに、親子のコミュニケーションづくりとして事業を実施しました。	4,000	95組 195
	4,000	117組 245
	4,000	79組 169

④小中学生スポーツ体験事業

○	14	小中学生無料開放 (夏休み1回) (冬休み1回) (春休み1回)	自 主	7月22日 12月27日 3月26日
○	15	小学生バドミントン教室 ① (6日間) ② (6日間)	自 主	4月20日～ 6月 1日 11月 2日～12月14日
○	16	初心者ミニバスケット教室 (1回 2日間)	自 主	8月 1日～ 8月 2日
○	17	小学生高学年テニス教室 (3日間)	自 主	3月26日～ 3月28日
○	18	サッカークリニック (1日間)	自 主	1月19日
○	19	小学生夏休み水泳教室	自 主	7月26日～ 8月 1日 8月 2日～ 8月 9日

⑤共催事業

○	20	第34回ファミリーフェスティバル	共 催	5月 5日
	21	第34回くにたちウォーキング	共 催	10月14日
	22	スポーツ講演会	共 催	2月15日
○	23	小学生初心者水泳教室（高学年、低学年）	共 催	5月 8日～ 5月31日 6月 5日～ 7月 3日
○	24	小学生かけっこ教室 (8日間)	共 催	4月 8日～ 7月29日

○こどもおすすめ事業

小・中学生を対象に学校の長期休暇期間中、子ども同士や親子で卓球、バドミントン、水泳を楽しく体験し、ルールを学び、スポーツに親しむ事業を実施しました。各種目には指導者を配置しアドバイスをを行いました。	無 料	258 92 142
小学生を対象に専門の指導員を派遣し、サーブ・レシーブ・スマッシュなどバドミントンを基礎から学びました。	2,000	138 135
小学生の初心者を対象に、ミニバスケットのゴールでドリブルやシュートなどの基礎を学びました。	1,000	36
小学4年生から6年生を対象に、サーブ・レシーブ・ボレーなどのテニスの基礎を学びました。	1,000	36
小学生を対象に専門の指導員を派遣し、サッカーの基礎や応用を学ぶ場を提供することにより楽しさを知るために事業を実施しました。	無 料	116
以前小学校で行っていた水泳教室は酷暑中止が多かったことから、会場を総合体育館室内プールに変え財団主催で行いました。	1,000	341 331

総合体育館及びその周辺にスポーツやゲームのコーナーを設け、子どもを中心に家族で楽しんでもらうイベントを開催しました。共催：国立市スポーツ協会	無 料	8,656
A：8.5km、S：13.6kmの2コースで実施しました。完歩賞を発行するなど楽しく参加できるようにするとともに、完走後に抽選会を開催し商品を出しました。共催：国立市スポーツ協会 協賛：国立市、(株)ヤクルト本社中央研究所、F S X(株)、カリフォルニア・レーズン協会、(公社)国立市シルバー人材センター	大人 500 子供 200	425
スポーツに携わった関係者等による講演会を開催し、スポーツの普及を図りました。共催：国立市スポーツ協会	無 料	158
泳げない小学生を対象に、泳げるようになることを目的に実施しました。共催：国立市	無 料	184 275
運動の基礎となる走力を身に着けることを目指しています。実施時期なども運動会の前など参加意欲がわくよう工夫します。共催：くにたちエール		264

(4) 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業（定款第4条第4号）

〔総務課〕（決算額 1,220,000 円）

ア. 助成事業

実施事業 通し番号	報	
	事業名（団体名）	実施月日
1	選定・伐採されたまちの樹木に新たな命を!! Part2 （くにたちさくら組in大学通り遊園）	4月14日・21日 ・28日
2	第10回国立まと火 （国立まと火実行委員会）	7月21日
3	谷保天満宮獅子舞保存 （谷保天満宮獅子舞保存会）	9月21日・22日
4	カナダ・日本国際美術展（カナダ：日本現代版画の多様性） （カナダ・日本国際美術展国立実行委員会）	10月9日～27日
5	Mumuse 室内楽シリーズVol.15 親子でたのしむクリスマスコンサート （オーケストラ・マミューズ多摩実行委員会）	12月14日
6	第48回塞の神どんど焼 （塞の神どんど焼き実行委員会）	1月13日
7	立川・国立・国分寺桜デジタルスタンプラリー2024 （国立市観光まちづくり協会）	3月22日 ～4月7日
8	第34回ダンスコレクション （第34回ダンスコレクション実行委員会）	3月30日

(5) 財団広報誌「オアシス」の発行等（定款第4条第7号）

〔総務課〕（決算額 6,539,247 円）

実施事業 通し番号	報	
	事業名（団体名）	実施月日
1	財団広報誌「オアシス」の発行事業	4月、6月、8月 10月、12月、2月
2	財団ホームページの管理事業	随 時

告	助成金 (円)	入場者数等 (人)
事業内容及び説明		
市内で様々な事情で伐採・剪定され、廃棄処分とされた樹木を様々な形にしたり、国立二小の建て替えに伴い伐採された子どもたちの思い出が多い樹木をオブジェとしたほか、新しい校舎で使う教室の名板やベンチを制作しました。	50,000	80
国立市と児童交流を続けてきた北秋田郡合川町（現在北秋田市合川地区）で古くから行われてきた伝統行事の「まと火」を、国立市の夏のイベントとして実施しました。	200,000	1,000
国立市指定文化財「獅子舞」の保存と後継者の育成に寄与しました。	120,000	50
カナダ大使館の後援を受けて、カナダと日本の版画家たちとの国際交流を図り、広く市民に芸術を普及するため、市内の会場で展覧会を開催しました。	200,000	360
0歳から大人まで楽しめるコンサートとして、クリスマス曲や流行のポップス、本格的クラシック曲を、解説を交えて演奏しました。入退場を自由としたほか、手遊び、ダンスなども取り入れるなど、小さいお子さんにも配慮したコンサートを実施しました。	100,000	186
あらかじめ集めた正月飾りを燃やしてまゆ玉をあぶり、食することで健康を祈念する地域の伝統行事を、絶やすことなく継続して実施しました。	150,000	3,000
立川観光コンベンション協会、こくぶんじ観光まちづくり協会と連携し、それぞれの桜の名所にデジタルスタンプを設定し、スタンプ獲得により回遊性を高め、地域の活性化を図りました。	100,000	未集計
ダンスを通して文化・スポーツの諸活動の育成と豊かな発展を目的とした文化・レクリエーションのイベント「ダンスコレクション」を通じてふれあいの場づくり、青少年の健全育成、まちの賑わい創出と地域の活性化を図りました。	300,000	未集計

告	事業費 (円)	発行数 (部)
事業内容及び説明		
各館の事業を中心に年6回隔月に「オアシス」を発行し市内全世帯に配布しました。 発行部数 毎回約43,000部、 4ページ4回、6ページ・8ページ各1回 発行形態 タブロイド判 全頁フルカラー 広告1枠（8センチ×6センチ） 広告収入4社18枠（440,000円）	5,351,247	261,180
ホームページを通して、事業内容、財団の情報を随時更新し、発信しました。	1,188,000	—

(6) 総合評価

(芸術小ホール)

- ・ 周辺市の他館に比べ、利用しやすい規模あるいは利用料からなのか、市外利用者件数は増えてきましたが、市内利用者件数が減少しています。また他館事業のチケット料金値上げが散見されるなか、当館ではできる限り公益財団としての役割を踏まえた運営を行っています。
- ・ 「芸術環境創造事業」では、従来どおり大学や市内の小学校、地域の芸術団体や個人との協働により事業を実施しました。より地域に根差した活動を目ざし、市内在住の講師による講座やホールが立地する地域の文化芸術を見出すための事業、また小学校でのアウトリーチを実施しました。
- ・ 「芸術振興事業」では、芸術文化の創造と継承・普及、交流・支援を図るための公演、ワークショップ等を実施しました。継続して開催してきた事業の振り返りやレギュラーあるいは既出演者とのこれまでの関係性を活かし、芸術振興に向けた協働を行いました。
- ・ その他実行委員会参画事業においては、市民が中心となって運営する意義をそれぞれの委員会内で共有しながら、市民による文化芸術活動の活性化を促進しました。市民の自立した活動の定着と広がりにつながり取り組んでいきます。
- ・ 予算・職員数が限定される中、事業本数はほぼ例年通り維持されるとともに内容がより専門性やレベルの高さを求められる傾向にあります。また外部助成金の獲得ができるよう質の追求を行うとともに、事業組み換えを検討する時期にあるともいえます。
- ・ 施設・設備の老朽化に対応し、市との協議連携も行いつつ修繕・工事を進めています。来館者・出演者が安全に気持ちよく利用でき、芸術文化の追求に品位を持って触れられる施設としての質を最低限保てるよう維持管理に一層留意していきます。
- ・ 2025（令和7）年4月よりネーミングライツにより愛称が新たに付与され、ホールの名前を広めていく必然性が生じました。これまでに築いてきた市民や芸術関係者・専門家との関係性を大切にしながら、特徴ある文化施設として躊躇することなくその業績を示してまいります。

(郷土文化館)

- ・ 紙の工芸展ですが、芸術性が世界的に高く評価されている折り紙やその他の様々な紙の工芸作品を通して、日本の伝統文化を再認識するとともに、モノを創造する喜び、面白さ、不思議さなどを実感していただき、また、市民グループとの共催企画として市民活動の場の設定を目的とし、実施いたしました。実行委員会と協議しながら、次世代への継承という観点も含め、同展の今後の方向性を検討したいと考えております。
- ・ 秋季企画展ですが、「石を彫るくにたちの彫刻家關敏の仕事」国立生まれの石の彫刻家關敏氏の作品は、今でも国立市内や多摩地域などを中心にパブリックアートや記念碑として多くの場所で出会うことができます。關敏氏の石彫り作品を紹介すると共に、絵画や雑誌の挿絵、デザインといった幅広い仕事も合わせて紹介することを目的として企画展示いたしました。今後も時宜にかなった企画展を継続していきたいと思っています。
- ・ むかしのくらし展ですが、民具案内関連展示として実施しました。小学3年生の社会科の授業の内容に合わせている為、内容が例年似通ってしまう部分があるため、このコーナー展示により特色を出しています。今年度は、開館30周年を記念して「郷土文化館開館30年前のチョットむかし」をテーマに展示をおこないました。今後も、コーナー展で変化を見せるとともに、ベースとなっている展示部分に関しても、より充実したものになるよう改善していきたいと考えております。
- ・ 市内小学校3年生を対象とした民具案内は、毎年、くにたちの暮らしを記録する会の皆さんにご協力をいただいています。今年度も会の皆さんと小学生との質問タイムをリモートではなく対面で実施しました。天候にも恵まれ、予定していた日程どおり、全校来館して実施できたことは良かったと思っています。

- ・郷土文化館は、SDGs 目標 4「質の高い教育をみんなに、生涯学習の機会促進」を踏まえ、今後においても資料収集・調査・研究事業、市民が参加・体験事業、及び様々な企画展示及び企画事業を進めていきたいと考えています。

(総合体育館)

- ・2025 年 2 月 26 日、27 日（通常の休館日）、28 日は、停電を伴う電気設備工事があり、全館臨時休館としました。
- ・トレーニングルームを利用して誰でも気軽に参加できるリフレッシュ体操を行いました。
- ・リピーターの多い健康づくりのスポーツ事業 7 事業では、スポーツを通じた健康増進や誰もがスポーツに親しむことができるよう、事業の充実を図りました。
- ・スポーツ及びレクリエーションの普及事業では、「みる」スポーツとして、プロスポーツ選手の生のプレーを味の素スタジアムで観戦し、スポーツの楽しさや喜びを味わえるよう事業を行いました。定員 200 組 400 名に対し多くの応募があり、抽選で 217 組 434 名の方を無料でご招待しました。
- ・親と子どものスポーツ体験事業では、幼児期の子どもから運動やスポーツの機会を与えることは、発達段階において非常に重要であることから、親子で楽しめる事業として、親子体操教室、親子野球教室、親子スイミング教室を開催しました。
- ・小学生夏休み水泳教室は、以前は小学校の屋外プールで夏休みに実施していましたが、雨や酷暑で中止になることが多かったことから、現在は財団主催で会場を総合体育館に変え水泳教室を実施しております。毎年定員を超える申込があり、大変好評でした。
- ・小中学生を対象に、長期休暇中に年 3 回総合体育館の一部を無料開放し、スポーツを楽しんでももらいました。
- ・くにたちファミリーフェスティバルは、当日晴天に恵まれ、多くの方が参加されました。スポーツやゲームなど 25 コーナーを設け、子どもたちを中心として家族と一緒に楽しんでももらいました。
- ・くにたちウォーキングは、2024 年度は 10 月 14 日のスポーツの日に開催し、会場を谷保第三公園から総合体育館に移し、ウォーキングを楽しみながら健康増進と体力向上に寄与しました。
- ・スポーツ講演会は、2025 年 2 月 15 日に開催しました。メンタルトレーナーの高畑好秀を講師にお迎えし、「スキルアップと健康増進に役立つメンタル力の高め方」と題し、健康増進とメンタル力の関係性などについてお話をいただきました。
- ・小学生初心者水泳教室では、泳げない小学生を対象に、泳げるようになることを目的に実施しておりますが、毎年定員を超える申込があり、今年も大変好評でした。
- ・しょうがいしゃスポーツを推進・支援するため、東京都等が主催するしょうがいしゃスポーツ関連の講習会・セミナー等の会場を提供し連携を図りました。
- ・屋外スポーツ施設の適正な維持管理では、屋外スポーツ施設として、野球場、サッカー場、テニスコートを貸し出し、利用者が安全に快適に利用していただくために、施設の適正な維持管理を行いました。
- ・有料公園施設は、年末年始（12 月 29 日から 1 月 3 日）にテニス、野球、サッカー場の無料開放を行い、利用者の利便性向上、健康増進・体力向上を図りました。

(総務課)

- ・広報紙「オアシス」発行事業については、より市民に見やすくなることを心掛けて編集しました。オアシスは財団にとって非常に重要な広報媒体でありますので、より親しみやすく、多くの市民に読んでいただけるよう、今後においても編集の創意工夫に努めていきます。ホームページについても、市民にわかりやすく、早急に情報提供できるよう改善を図っていきます。また、財団としての財源確保のため、オアシスへの広告掲載依頼等についても引き続き努力していきます。

2. 指定管理事業

国立市との協定による施設の管理運営事業

(1) 市民芸術小ホールの利用状況

(ア) 利用料収入

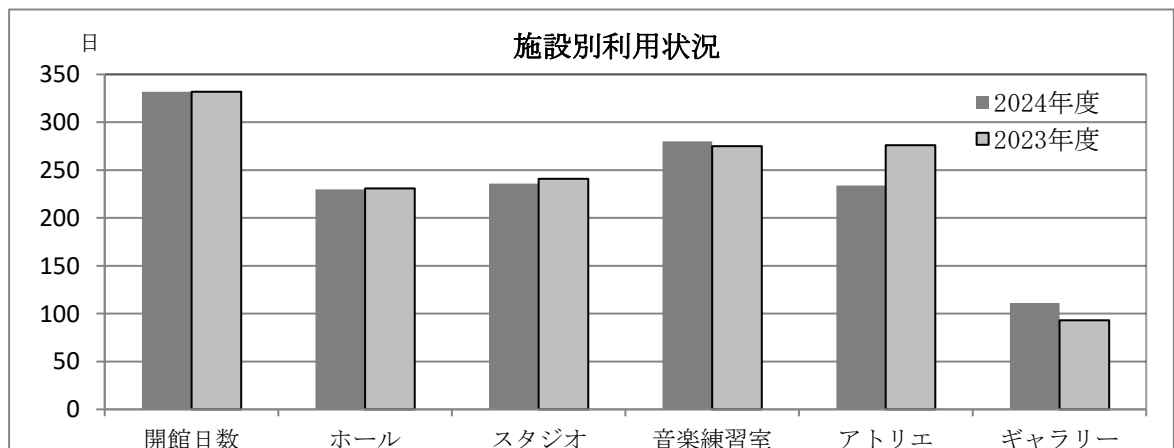
	2024年度			2023年度			
施設名	施設利用料	付属設備利用料	利用料合計	施設利用料	付属設備利用料	利用料合計	増減
ホール	7,352,910	7,166,450	14,519,360	5,368,400	6,589,730	11,958,130	2,561,230
スタジオ	1,481,760	918,700	2,400,460	1,582,300	982,620	2,564,920	-164,460
音楽練習室	1,498,700	143,400	1,642,100	1,296,000	166,840	1,462,840	179,260
アトリエ	517,160	10,200	527,360	591,150	44,220	635,370	-108,010
ギャラリー	477,600	400	478,000	432,000	2,000	434,000	44,000
合計	11,328,130	8,239,150	19,567,280	9,269,850	7,785,410	17,055,260	2,512,020

・減免利用料

2024年度減免利用料額					
施設	付属設備	合計			
7,634,000	4,336,600	11,970,600	単位：円		
2023年度減免利用料額			差引増減額		
施設	付属設備	合計	施設	付属設備	合計
8,281,000	6,209,700	14,490,700	-647,000	-1,873,100	-2,520,100

(イ) 施設別利用状況

2024年度 開館日数 333日	施設名	利用日数	利用率	利用件数	市内	市外	利用者数
	ホール	230 日	79.3 %	277 件	241 件	36 件	30,324 人
	スタジオ	236	75.2	298	264	34	8,423
	音楽練習室	280	85.9	375	338	37	6,091
	アトリエ	234	71.3	289	286	3	2,765
	ギャラリー	111	34.4	111	108	3	3,827
	エントランス	17	5.1	17	17	0	1,647
	計			1,367	1,254	113	53,077
2023年度 開館日数 332日	施設名	利用日数	利用率	利用件数	市内	市外	利用者数
	ホール	231 日	79.4 %	269 件	247 件	22 件	27,711 人
	スタジオ	241	74.8	321	273	48	9,224
	音楽練習室	275	83.6	372	344	28	6,378
	アトリエ	276	82.9	369	365	4	3,293
	ギャラリー	93	29.6	93	93	0	4,475
	エントランス	19	5.7	19	19	0	1,686
	計			1,443	1,341	102	52,767



市民芸術小ホール利用状況

<2024年度>

単位：回

	ホール			スタジオ			音楽練習室			アトリエ			ギャラリー	エントランス
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	全日	全日
2024年 4月	14	16	14	16	14	7	21	19	7	14	8	4	8	
2024年 5月	12	14	10	19	17	5	16	13	4	14	7	4	3	2
2024年 6月	14	15	13	15	14	8	14	17	8	23	14	3	11	1
2024年 7月	21	20	17	20	23	15	21	21	13	20	14	10	9	1
2024年 8月	16	19	14	19	16	6	23	16	6	16	12	8	1	2
2024年 9月	14	16	12	17	14	6	18	19	13	23	22	18	4	2
2024年 10月	20	20	18	19	16	12	14	22	11	23	17	11	19	2
2024年 11月	20	19	20	20	21	15	19	20	18	21	15	11	23	1
2024年 12月	10	14	15	16	17	10	17	18	13	13	3	2	12	1
2025年 1月	14	17	16	11	10	5	20	16	6	15	5	1	8	2
2025年 2月	16	16	10	13	14	7	16	15	10	13	9	6	6	2
2025年 3月	22	21	18	20	21	15	20	19	10	17	11	8	7	1
合 計	193	207	177	205	197	111	219	215	119	212	137	86	111	17

<2023年度>

単位：回

	ホール			スタジオ			音楽練習室			アトリエ			ギャラリー	エントランス
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	全日	全日
2023年 4月	16	19	17	19	16	5	19	17	8	20	16	14	10	
2023年 5月	23	22	15	10	12	6	15	16	10	22	17	13	21	
2023年 6月	11	11	9	14	11	10	20	15	12	21	20	5	8	
2023年 7月	14	11	9	19	19	11	20	18	10	23	15	9	3	
2023年 8月	17	14	7	19	18	5	20	13	7	20	11	4	1	
2023年 9月	17	23	24	17	17	12	18	18	13	24	25	19	5	
2023年 10月	20	22	22	21	17	10	16	19	11	22	19	6	12	
2023年 11月	20	19	19	25	20	18	20	19	17	22	18	12	15	
2023年 12月	10	12	14	15	15	9	13	13	4	15	11	5	3	
2024年 1月	17	18	15	14	15	10	17	17	10	18	13	3	4	
2024年 2月	19	19	14	15	15	12	19	18	11	17	15	6	5	
2024年 3月	17	17	15	21	20	15	18	18	13	19	14	8	6	
合 計	201	207	180	209	195	123	215	201	126	243	194	104	93	0

(2) 国上市古民家を含む郷土文化館の利用状況

(ア) 施設・設備利用料収入

単位：円

年 度	利用料収入額			減免利用料		
	施設	付属設備	合計	施設	付属設備	合計
2024年度	1,028,000	97,000	1,125,000	1,110,800	0	1,110,800
2023年度	1,016,300	96,500	1,112,800	1,284,500	34,500	1,319,000
増（－）減	11,700	500	12,200	-173,700	-34,500	-208,200

※2023年度から利用制限を解除したので、ほぼコロナ前の状態に戻ってきている。

※減免利用の付属設備の減は、社協による陶芸用電気窯使用がなくなったため。

(イ) 施設別利用状況

単位：件

施設名	年 度	利用時間帯別利用件数（年間 335日）														
		午前			午後			夜間			全日			合計		
		有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計
講 堂	2024年度	149	22	171	206	18	224	114	6	120	0	0	0	469	46	515
	2023年度	130	27	157	215	18	233	101	4	105	0	0	0	446	49	495
研修室 1	2024年度	8	64	72	68	51	119	0	7	7	0	0	0	76	122	198
	2023年度	2	61	63	66	55	121	2	6	8	0	0	0	70	122	192
研修室 2	2024年度	107	47	154	146	33	179	0	5	5	0	0	0	253	85	338
	2023年度	128	46	174	159	32	191	0	4	4	0	0	0	287	82	369
特別展示室	2024年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	120	120	0	120	120
	2023年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	126	126	0	126	126
合 計	2024年度	264	133	397	420	102	522	114	18	132	0	120	120	798	373	1,171
	2023年度	260	134	394	440	105	545	103	14	117	0	126	126	803	379	1,182

※2023年度からほぼコロナ前の状態に戻ってきているが、研修室 1、2 の利用が減少。

※2023年度比での研修室 2 利用減は、陶芸サークルの高齢化が影響している。

(ウ) 付属設備利用状況

単位：件

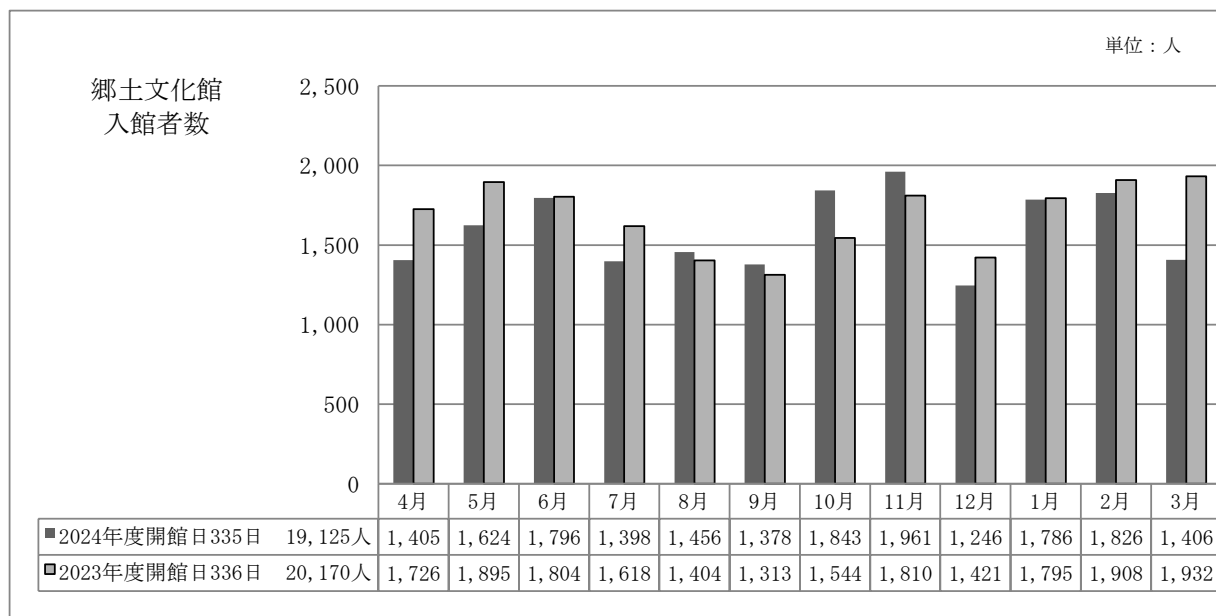
年 度	ビデオ映写装置			移動展示ケース			スライド映写機			16ミリ映写機			OHP			陶芸用電気釜			合 計		
	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計
2024年度	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	17	18	0	18
2023年度	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	6	22	17	6	23

(エ) 事業収入等状況

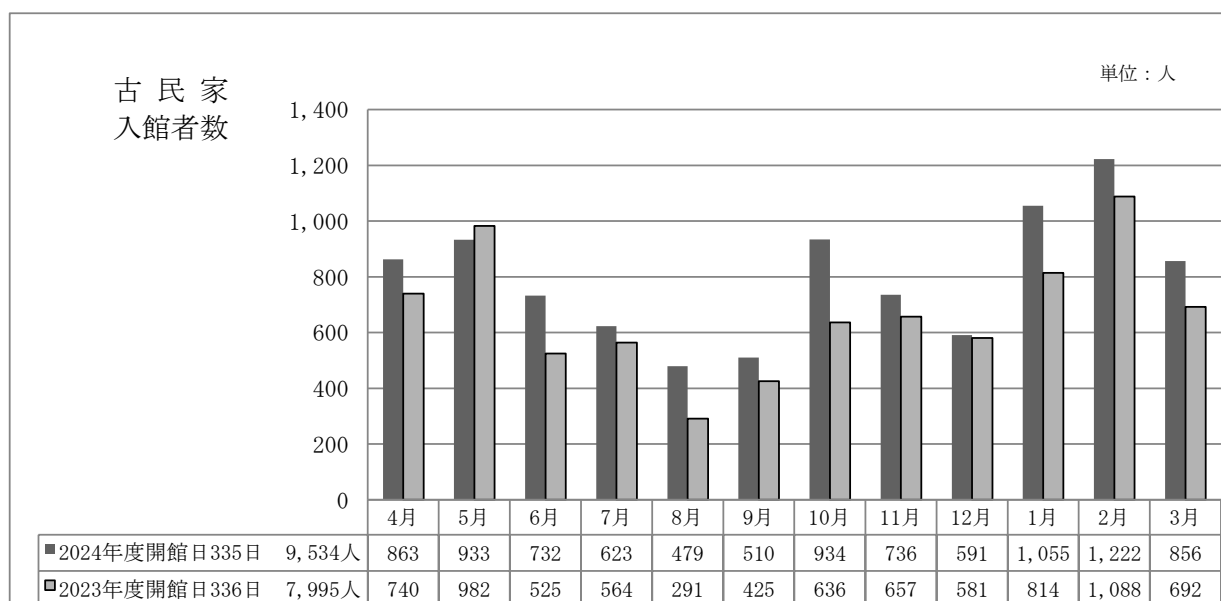
年 度	入館者（人）			事業収入等（円）					事業参加者（人）		
	郷土文化館	古民家	合 計	入場料	参加費	図録売上	その他	合 計	有 料	無 料	合 計
2024年度	19,125	9,534	28,659	0	166,700	427,800	20,170	614,670	433	14,237	14,670
2023年度	20,170	7,995	28,165	0	155,600	552,300	25,040	732,940	329	14,987	15,316
増(－)減	-1,045	1,539	494	0	11,100	-124,500	-4,870	-118,270	104	-750	-646

※2023年1月からスタートしたマンホールカード配布は、全国区で集客に寄与

但し、配布開始当初の勢いがなかったため、配布枚数も2024年度は2割減。



※2023年1月からスタートしたマンホールカード配布は、全国区で集客に寄与
但し、配布開始当初の勢いがなかったため、配布枚数も2024年度は2割減。



※2023年度、2024年度とも大きなイベントは無かったが、2024年度は集客数が若干増
※2024年度の10月は、くにたちウォーキングが寄与。

(3) 市民総合体育館の利用状況

(開館日数: 333 日)

ア 利用料収入

単位:円

	利 用 料 収 入 額			減 免 利 用 料			
	個 人	団 体 貸 切	合 計	減 免	グリーンパス等	特 保	合 計
2024年度	24,126,250	8,370,175	32,496,425	1,197,100	6,107,250	171,600	7,475,950
2023年度	22,242,100	7,897,090	30,139,190	1,055,400	5,308,250	159,950	6,523,600
増減	1,884,150	473,085	2,357,235	141,700	799,000	11,650	952,350

イ 個人利用の状況

単位:人

	第一、二、三体育室			室 内 プ ー ル			
	個 人	グリーンパス等	合 計	個 人	グリーンパス等	特 保	合 計
2024年度	24,412	3,814	28,226	17,947	9,184	63	27,194
2023年度	20,423	3,225	23,648	18,297	8,964	86	27,347
増減	3,989	589	4,578	-350	220	-23	-153

	ト レ ー ニ ン グ 室				合 計			
	個 人	グリーンパス等	特保	合 計	個 人	グリーンパス等	特 保	合 計
2024年度	24,577	18,476	481	43,534	66,936	31,474	544	98,954
2023年度	21,811	17,421	427	39,659	60,531	29,610	513	90,654
増減	2,766	1,055	54	3,875	6,405	1,864	31	8,300

ウ 団体貸切利用の状況

単位:(団体数)団体、(人数)人

	第一～三体育室		室内プール		会議室		ステージ
	団体数	人 数	団体数	人 数	団体数	人 数	団体数
2024年度	2,383	45,990	494	12,457	383	6,719	33
2023年度	2,474	45,225	563	11,057	835	6,069	20
増減	-91	765	-69	1,400	-452	650	13

単位:(団体数)団体、(人数)人

	合 計	
	団体数	人 数
2024年度	3,293	65,166
2023年度	3,892	62,351
増減	-599	2,815

総利用者数 単位:人

個人利用+団体貸切+保育室	
2024年度	165,979
2023年度	154,759
増(-)減	11,220

エ その他 保育室利用状況

保育室	利用件数	人 数
	524件	1,859人

駐車場利用状況(届け出台数)

駐車場	利用台数	1日平均
	21,149台	63.5台

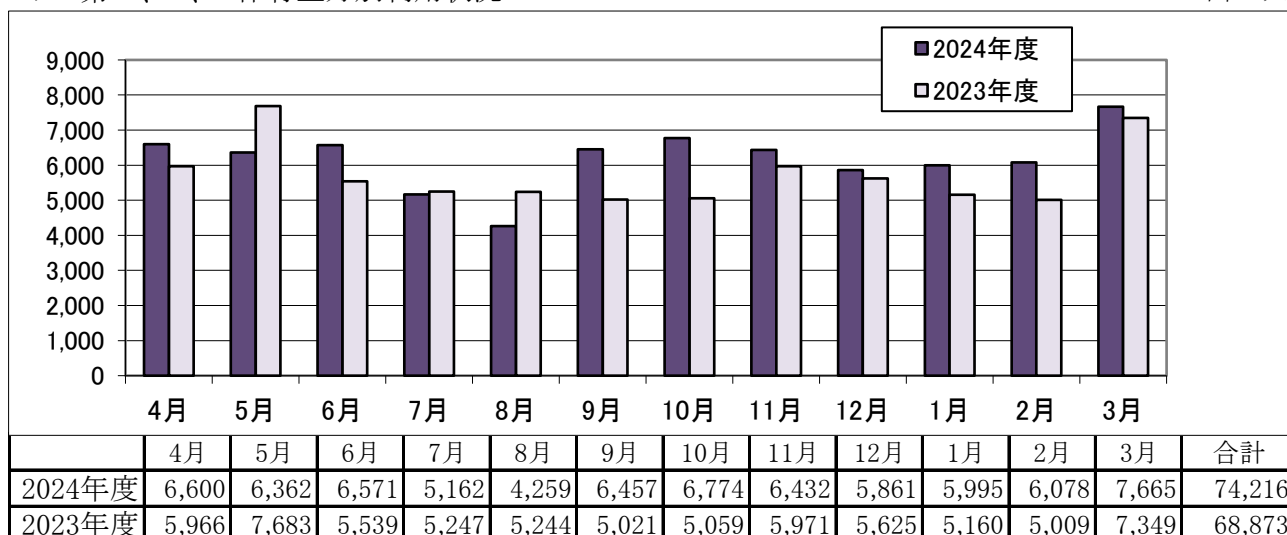
オ く に たち 南 市 民 プ ラ ザ : ト レ ー ニ ン グ 室 利 用 状 況

(開館日数: 206 日)

	個人利用料 収入額(円)	減 免 利 用 料 (円)				利 用 人 数 (人)				
		グリーンパス	特保	無料券	合計	個人	グリーンパス	特保	無料券	合計
2024年度	1,199,190	489,750	3,900	29,100	522,750	2,476	3,265	13	97	5,851
2023年度	1,025,370	426,900	8,400	45,900	481,200	2,116	2,846	28	153	5,143
増減	173,820	62,850	-4,500	-16,800	41,550	360	419	-15	-56	708

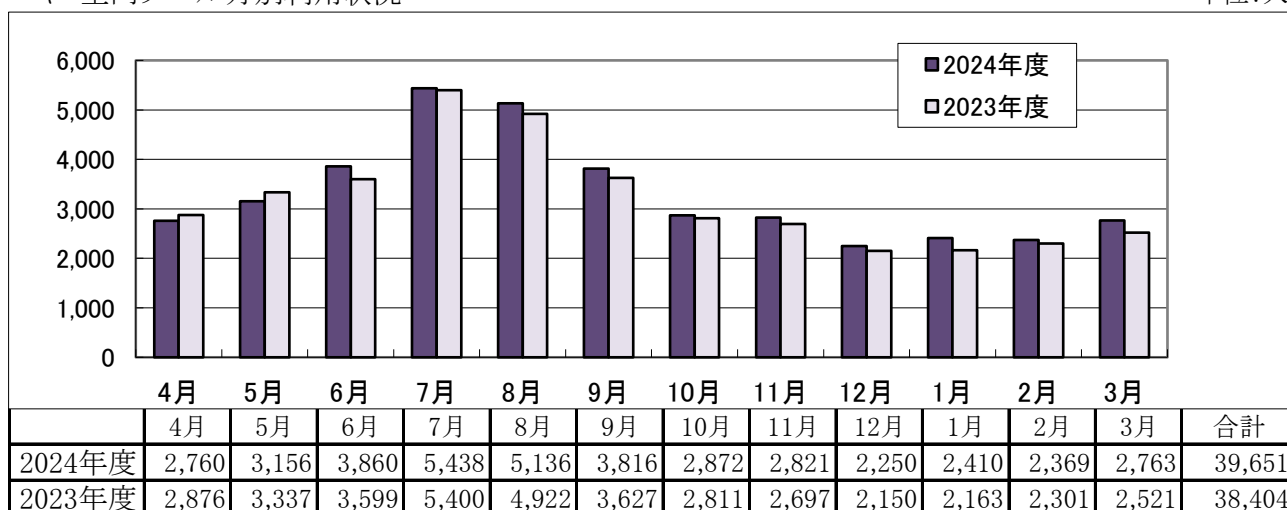
カ 第一、二、三体育室月別利用状況

単位:人



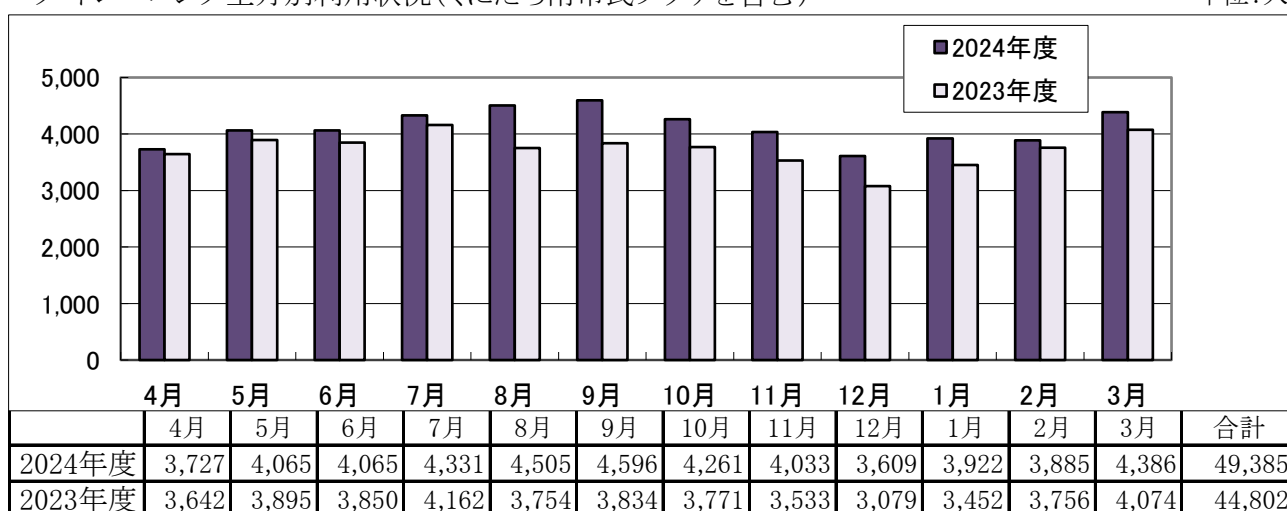
キ 室内プール月別利用状況

単位:人



ク トレーニング室月別利用状況(くにたち南市民プラザを含む)

単位:人



(4) 有料公園施設等の利用状況

ア 利用料収入

単位:円

	利 用 料 収 入 額			
	テ ニ ス	野 球	サッカー	合 計
2024年度	15,710,900	1,336,725	265,200	17,312,825
2023年度	15,463,600	1,443,975	319,800	17,227,375

減免利用料

単位:円

	減 免 利 用 額			
	テ ニ ス	野 球	サッカー	合 計
2024年度	533,200	2,584,400	579,800	3,697,400
2023年度	565,600	2,702,375	581,100	3,849,075

イ テニスコートの利用状況

単位:1面1時間

	テニスコート			
	谷 保	矢 川	広 場	合 計
2024年度	8,112	7,506	9,657	25,275
2023年度	7,386	7,937	9,964	25,287

テニスコートの利用率

単位:1面1時間

	テニスコート利用率			
	谷 保	矢 川	広 場	平 均
2024年度	73.94%	68.50%	57.11%	66.52%
2023年度	74.70%	72.19%	58.49%	68.46%

ウ 野球・サッカーの利用状況

単位:1面1時間

	野球場				サッカー	合 計
	谷保第三	河川敷AB	少年野球場	小 計		
2024年度	2,472	3,214	1,359	7,045	1,665	8,710
2023年度	2,500	3,436	1,368	7,304	1,706	9,010

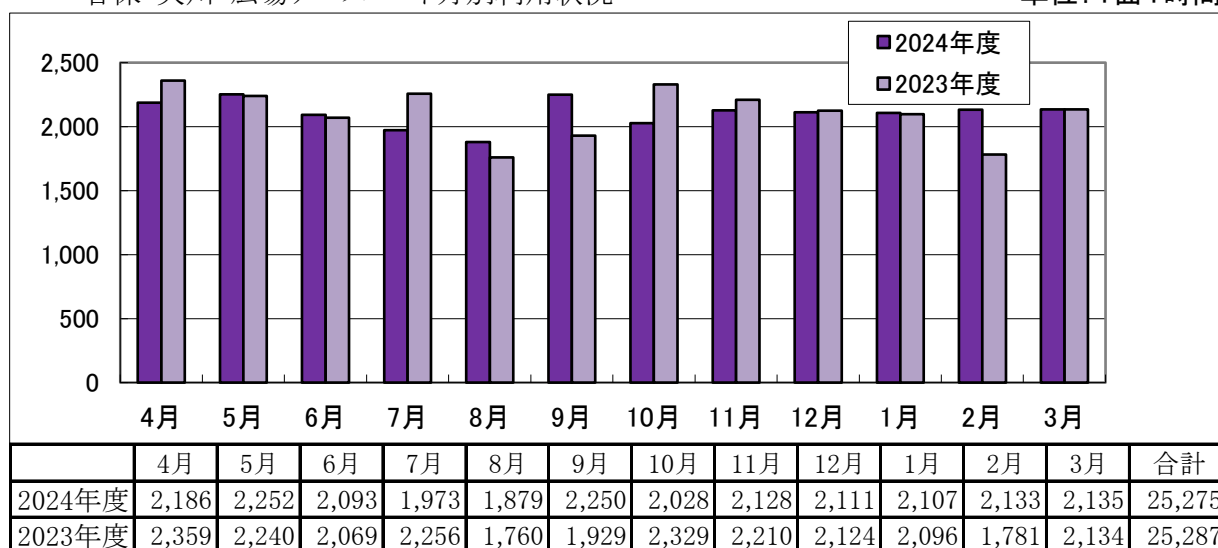
野球・サッカーの利用率

単位:1面1時間

	野球場利用率				サッカー場 利用率	平 均
	谷保第三	河川敷AB	少年野球場	平 均		
2024年度	67.65%	44.60%	46.56%	52.94%	45.53%	51.09%
2023年度	68.27%	47.26%	46.61%	54.05%	46.66%	52.20%

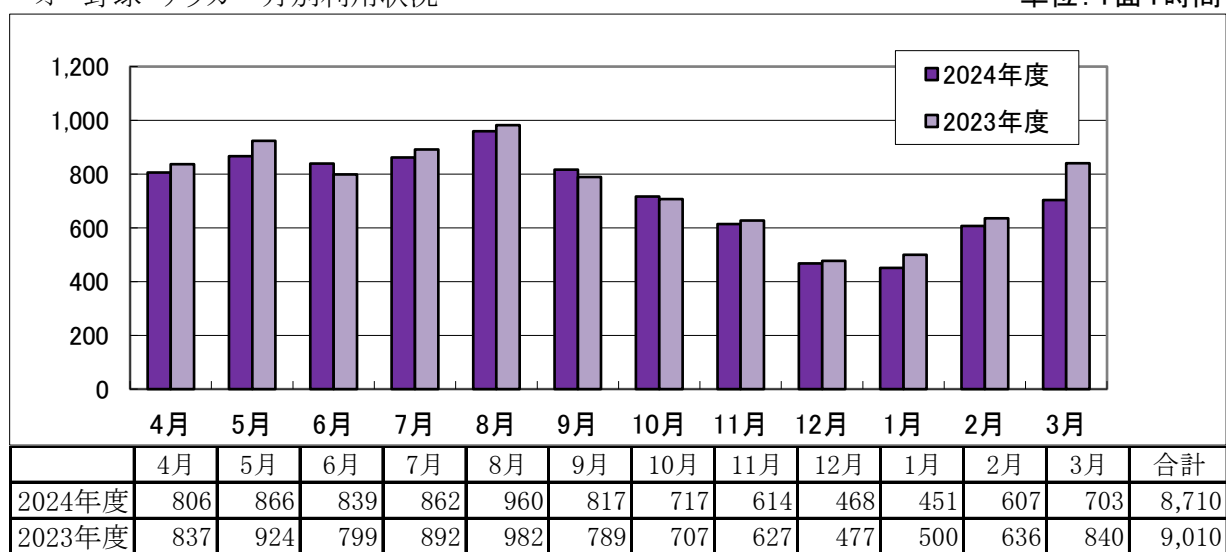
エ 谷保・矢川・広場テニスコート月別利用状況

単位：1面1時間



オ 野球・サッカー月別利用状況

単位：1面1時間



3. 管 理

(1) 役員及び役員会等に関する事業

ア. 理事、監事及び評議員等の名簿

(2025 年 3 月 31 日現在)

(ア) 理事

役 職 名	氏 名	任 期	常勤・ 非常勤	当法人以外の役職
理 事 長	門倉 俊明	2024年12月25日から2年以内に 終了する事業年度のうち最終の ものに関する定時評議員会の終 結の日まで	常勤	公益財団法人くにたち文化・ スポーツ振興財団事務局長
常務理事	梶本 祐幸	〃	非常勤	国立市教育委員会教育部長
理 事	池田 良二	2023年5月31日から2年以内に 終了する事業年度のうち最終の ものに関する定時評議員会の終 結の日まで	非常勤	武蔵野美術大学名誉教授
〃	梅本 実	〃	〃	国立音楽大学学長
〃	金子 一秀	〃	〃	東京女子体育大学・東京女子 体育短期大学学長
〃	近藤 佳子	〃	〃	国立の自然と文化を守る会 副会長
〃	峰岸 秀征	〃	〃	国立市スポーツ協会会長

(イ) 監事

役 職 名	氏 名	任 期	常勤・ 非常勤	当法人以外の役職
監 事	木村 淳二	2023年5月31日から4年以内に終 了する事業年度のうち最終の ものに関する定時評議員会の終結 の日まで	非常勤	税理士
〃	佐藤 収一	〃	〃	会社会長

(ウ)評議員

役 職 名	氏 名	任 期	常勤・ 非常勤	当法人以外の役職
評 議 員	宇治 康	2023年5月31日から4年以内に 終了する事業年度のうち最終の ものに関する定時評議員会の 終結の日まで	非常勤	たましん地域文化財団常務理事
〃	尾崎 良一	〃	〃	国立市スポーツ協会理事長
〃	笠間 信也	〃	〃	NPO国立市動物調査会理事
〃	佐伯 安子	〃	〃	くにたちの暮らしを記録する会 会長
〃	坂 なつこ	〃	〃	国立大学法人一橋大学大学院 社会学研究科教授
〃	塩野 啓子	〃	〃	塩野啓子バレエスタジオ代表
〃	松井 憲太郎	〃	〃	キラリ財団マネージャー
〃	和田 哲	〃	〃	国立市文化財保護審議会委員
〃	遠藤 泰典	2023年10月27日から4年以内に 終了する事業年度のうち最終 のものに関する定時評議員会 の終結の日まで	〃	国立三中OB吹奏楽団副団長

イ. 理事会等の開催

(ア)理事会

a 議事事項

開 催 年 月 日	件 名	会議結果
2024 年 4 月 1 日	第 1 号議案 臨時評議員会の招集案 第 2 号議案 理事候補者案 第 3 号議案 常務理事兼事務局長案	可 決 可 決 可 決
2024 年 5 月 15 日	第 4 号議案 定時評議員会の招集案 第 5 号議案 2023 年度事業報告案 第 6 号議案 2023 年度決算案	可 決 可 決 可 決
2024 年 10 月 11 日	第 7 号議案 臨時評議員会の招集案	可 決
2024 年 12 月 25 日	第 8 号議案 理事長候補者案及び常務理事候補者案	可 決
2025 年 2 月 14 日	第 9 号議案 臨時評議員会の招集案 第 10 号議案 2025 年度事業計画書案 第 11 号議案 2025 年度収支予算書案と資金調達及び 設備投資の見込みを記載した書類案	可 決 可 決 可 決

b 協議事項

開催年月日	件名	備考
2024年10月11日	協議事項① 2025年度事業計画作成に伴う協議	

c 報告事項

開催年月日	件名	備考
2024年5月15日	報告事項① 運営組織及び事業活動の状況の概要等について 報告事項② 寄附金等特定資産の運用の状況について	
2024年10月11日	報告事項① 2023年度決算書の訂正について 報告事項② 会計規程の一部改正について 報告事項③ 臨時職員取扱要綱の一部改正について 報告事項④ 理事長・常務理事の職務の執行状況	
2025年2月14日	報告事項① 理事長・常務理事の職務の執行状況 報告事項② 給与に関する要綱の一部改正について 報告事項③ 嘱託員の設置に関する要綱の一部改正について	

(イ)評議員会

a 議事事項

開催年月日	件名	会議結果
2024年4月1日	第1号議案 理事候補者案	可決
2024年5月31日	第2号議案 2023年度決算案	可決
2024年2月25日	第3号議案 2025年度事業計画案 第4号議案 2025年度収支予算案と資金調達及び 設備投資の見込みを記載した書類案	可決 可決

b 協議事項

開催年月日	件名	備考
2024年10月25日	協議事項① 2025年度事業計画作成に伴う協議	

c 報告事項

開催年月日	件名	備考
2024年5月31日	報告事項① 2023年度事業報告 報告事項② 運営組織及び事業活動の状況の概要等について 報告事項③ 寄附金等特定資産の運用の状況について	
2024年10月25日	報告事項① 2023年度決算書の訂正について 報告事項② 会計規程の一部改正について 報告事項③ 臨時職員取扱要綱の一部改正について 報告事項④ 理事長・常務理事の職務の執行状況	

2025 年 2 月 25 日	報告事項① 理事長・常務理事の職務の執行状況 報告事項② 給与に関する要綱の一部改正について 報告事項③ 嘱託員の設置に関する要綱の一部改正について	
-----------------	--	--

(ウ)監査

開 催 年 月 日	監 査 事 項
2024 年 5 月 7 日 決算監査	2023 年度決算書 2023 年度事業報告書
2024 年 11 月 11 日 中間監査	2024 年度収支決算書(上半期分) 2024 年度事業報告書(上半期分)